

大正大学地域構想研究所シンポジウム

人とトキが 共に生きる島づくり



佐渡市長
渡辺 竜五

◆主な経歴◆

S58 相川町職員として就職

H19 佐渡市農林水産課
生産振興係長として
朱鷺認証制度を立ち上げる

H23 佐渡市農林水産課長に就任

R2 佐渡市長に就任

トキ（朱鷺）について…

*昔はドウ、トウ、タウなどとも呼ばれた。

- 学名 *Nipponia nippon*（ニッポニア・ニッポン）
- 特別天然記念物、国内希少野生動植物、国際保護鳥
- レッドリストカテゴリー
日本：絶滅危惧ⅠA類
世界（IUCN）：絶滅危惧ⅠB類



日本のトキの歴史

- 東アジアや日本に広く生息していたトキは昭和の始めには、絶滅したと考えられていた
- 昭和6年 2羽のトキが佐渡で発見される。
- 昭和27年 特別天然記念物指定。
- 昭和56年 保護のため、5羽を一斉捕獲。
- 同年中国で7羽のトキが発見される。
- 平成11年 中国江沢民国家主席から天皇陛下にトキのペアが贈られる。
- 同年初めてヒナ誕生。

トキの捕獲（昭和56年）



捕獲された5羽につけられた足環の色から
「アオ」「アカ」「キイロ」「シロ」「ミドリ」と命名

平成11年 中国から贈られたヨウヨウ（友友）・
ヤンヤン（洋洋）ペア



日本初の人工繁殖で生まれたトキ ユウユウ（優優）

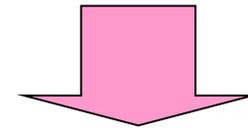


トキ野生復帰への課題(放鳥前～初期) 進まない餌場整備と島民の意識

トキへの意識

一部地域、一部の人のみの取り組み

トキのために・補助金の一極集中



小佐渡東部

農業と無関係な取り組みと認識
進まない生息環境の向上



・トキの生息環境の再生

・トキビオトープ整備事業(H19～)

休耕田等をトキの餌場として維持管理する農家等に助成する。

(小佐渡東部鳥獣保護区内)

ビオトープ21千円/10a

冬季たん水10千円/10a



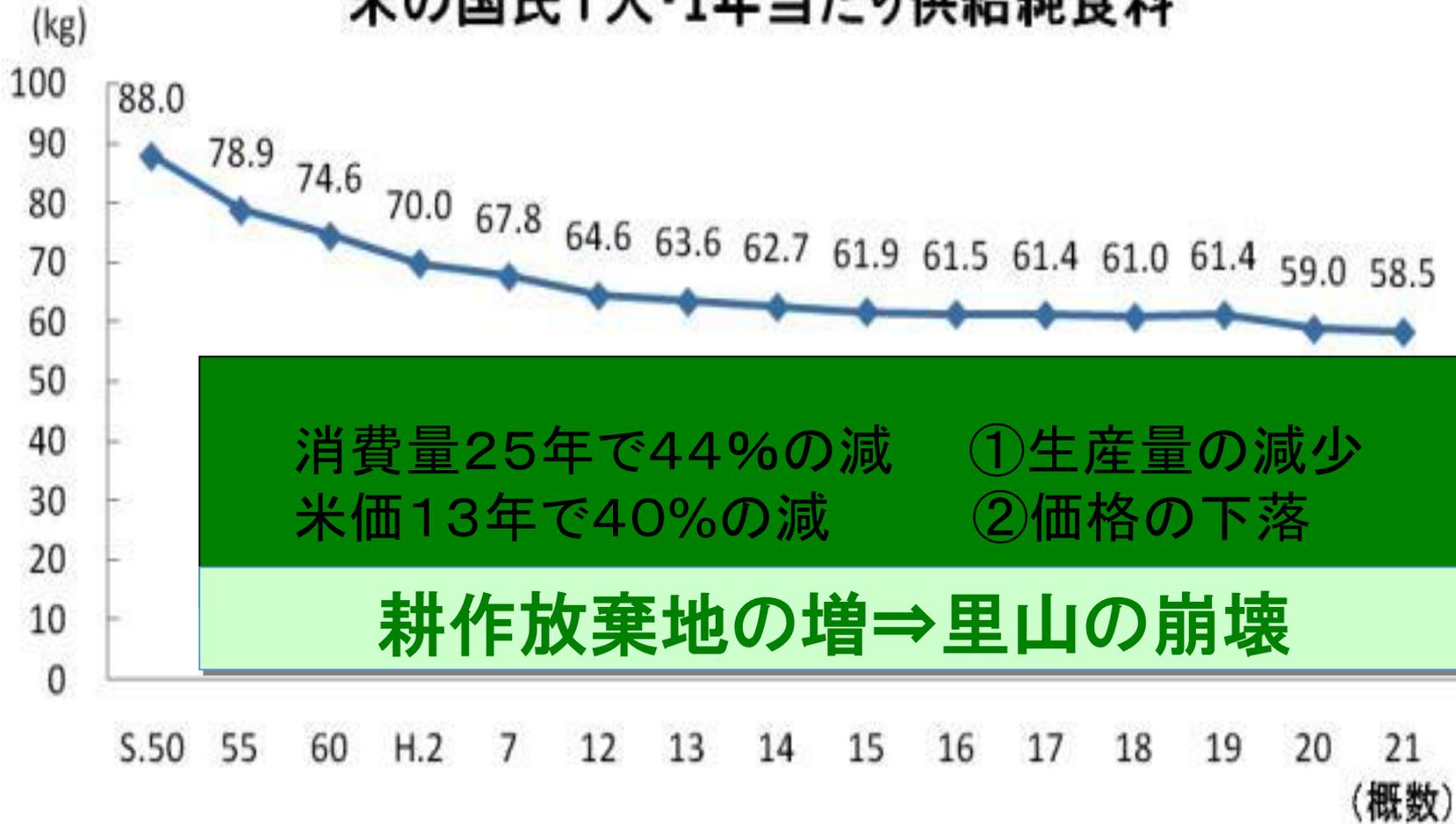
トキだけのため



ドジョウ養殖普及事業(H18～)
トキの餌となるドジョウの養殖に取り組む
農家等に助成
施設等の設置に必要な初期投資経費
上限250千円(1/2補助)

農業の危機

米の国民1人・1年当たり供給純食料



1975

1990

2003

2009

大規模化、低コスト化農業が生み出す形



近代化の象徴である
コンクリート水路

進む耕作放棄地(水
田を放棄)

トキの餌は(1羽当り)

1日 185g

(ドジョウ 約25匹)

1年 67.5kg

(飼育記録より)

トキの餌場は

2,000haの水田やビオトープが必要
(1羽当り33ha 60羽定着)

佐渡島全体での生息環境の再生が重要

ブランド化に向けた方向性

- 販売不振の5,000トンが販売できること。
ここがポイント。 作れない（生産調整）を解消

販売目標によって対象面積が変化
5,000トン（8万3千人） 約1000ha

- 量とブランドは正反対。やや高く、多くの店で使える価格設定と佐渡のPRによる佐渡米の発信

トキではなく生きものを守る農業を島全体に広げ、
島全体の環境を守る取り組みのブランド

参加しやすい制度+
消費者のわかりやすい制度

朱鷺と暮らす郷づくり認証制度 発足

2007年(平成19年)



水田や水路に江(深み)を設置

「生きものを
育む農法」
を農業技術へ



ふゆみずたんぼ(冬期湛水)



生態系
の再生



ビオトープの設置



魚道の設置

産官民が一体となった取り組み

～朱鷺と暮らす郷米～



美味しく、信頼できるお米を
KOMESEN
よりお届けします。

関西の優良な米専門店が、良質の美味しいお米をご提供できるようにと「米専無農薬研究会」を1988年に結成いたしました。全国の優良生産者との交流も深まり、契約栽培米としてお客様にご賞味いただけるようになりました。



米専無農薬研究会

ホームページ
<http://komesen.com/>



佐渡市が認証する
コシヒカリだけの
マークです。

このお米は、新潟県が認定した「エコファーマー」がまづくりから手がけて大事に育てたこだわりのお米です。佐渡の自然の恵みと生産者の努力が織りなした、しつかりとした味わいのお米をご堪能ください。

生きものを育てる農法で栽培しています。
ドジョウやカエル、ヤゴにタニシ...
化学肥料や農薬を減らした田んぼでは、
沢山の生きものが育まれます。
沢山の生きものが生息できる環境
だからこそ、朱鷺も安心して棲めるのです。

「朱鷺と暮らす郷 里山米」は
売上げの一部を
佐渡市トキ保護基金に
寄付しています。
佐渡市トキ保護基金に
ご協力をお願いします。



トキを野生に戻すためには、さまざまな生物が暮らせる生態系を取り戻し、維持しなければなりません。飼鳥の還元やトクープづくり、里山の保全、環境保全型農業の普及や小学校での環境教育などの活動はもちろん、それを行う地元住民とボランティアの人手も必要です。
こうしたトキの野生復帰への取り組みと、トキの生息環境の復元整備を支援するための基金が「佐渡市トキ保護基金」です。どうぞ、みなさまのご協力をお願いします。
【朱鷺と暮らす郷 里山米】は、消費者と生産農家のトキ保護への思いがひとつになったお米です。

名称	精米
産地	産年
原料玄米	単一原料米
内容量	5kg
精米年月日	
販売者	



冬暖かく夏涼しい風土も、
おいしいお米をつくります。

お米の取扱いについて

- 1 直射日光を避けて、涼しい場所に保存してください。
- 2 米は湿気を嫌いますので保管にご注意ください。
- 3 袋づつお米は、虫等の発生を防ぐために、こまめに清潔にしてください。
- 4 臭いや変色、カビ等の発生が確認された場合は、お早めにお召し上がりください。
- 5 お買い求めの際は、お早めにお召し上がりください。

※本品は専ら「食料」としてのみ提供することを目的として生産されています。
※ 賞味期限は、品質を維持するための目安であり、必ずしも賞味期限が過ぎたからといって、必ずしも品質が低下するとは限りません。
※ 本品には遺伝子改変された生物由来の成分は含まれておりません。

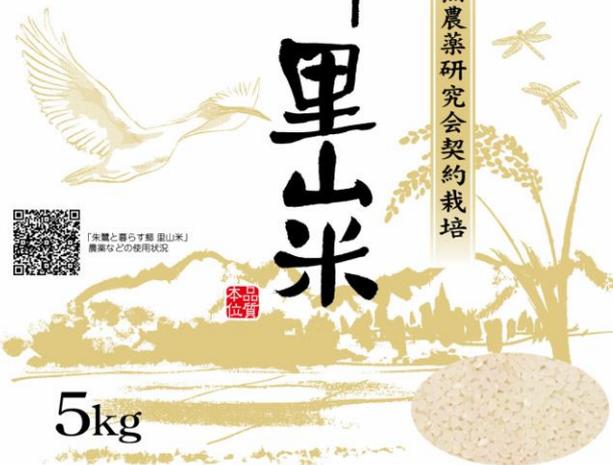


朱鷺と暮らす郷里山米

新潟県 佐渡産 コシヒカリ

米専無農薬研究会契約栽培

「朱鷺と暮らす郷 里山米」は
佐渡のめぐまれた環境のもと、
生きものを育てる農法で
自然にやさしい農法で
トキと一緒に
すこやかに育つたお米です。



「朱鷺と暮らす郷 里山米」
農薬などの使用状況

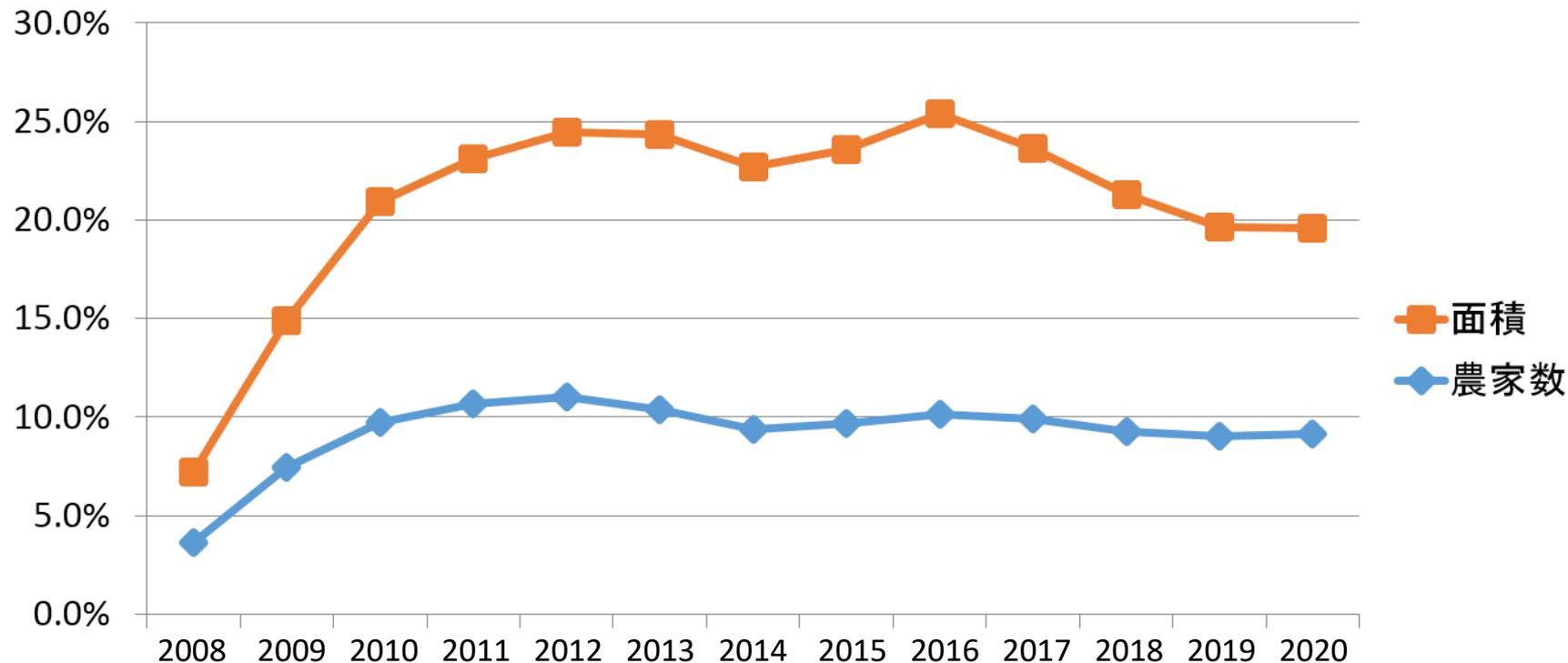


新潟県 佐渡産 コシヒカリ 朱鷺と暮らす郷 里山米

朱鷺と暮らす郷 里山米

朱鷺と暮らす郷づくり認証制度 推移

■ 主食用水稲作付に対する認証米割合推移



主食用水稲栽培面積の約2割が朱鷺認証制度に取り組む

認証米の役割 生物多様性の視点

2010年6月13日 「生きもの調査の日」宣言
6月第2日曜日、8月第1日曜日に生きもの調査を実施



農家だけではなく、子どもたちや都市住民も参画

都市との交流

環境教育

生きもの育む農業が、小さな「命」に目を向ける仕組みに

2011年 GIAHS（世界農業遺産）認定



GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS

全球重要農業文化遺產

Theme: Dialogue among agricultural civilizations

主题：不同农业文明之间的对话

9-12 June 2011

Green Resort, Beijing, China

国际农业发展

可州



去年で認定
10周年

GIAHSで認定された農業遺産システム名
「トキと共生する佐渡の里山」

受け継がれる多様な自然と伝統文化



小倉千枚田



能



鬼太鼓



岩首昇竜棚田

守るべき農村の原風景



次世代への継承

佐渡トキ応援お米プロジェクト



募金総額は約3,000万円となり、更に朱鷺認証米への理解が深まる

次世代への継承



オーガニック食材を 活用した保育園給食



保育園・学校給食に無農薬・無化学肥料米を提供へ！！

世界農業遺産・世界文化遺産を活用した新たな展望

(佐渡金山道遊の割戸)



(1/28 世界遺産国内推薦決定)

令和5年の世界遺産登録目指す



- ・ 低炭素、生物多様性、循環型社会の実現
- ・ 独自の歴史や文化、環境を活用

「佐渡らしい暮らしの豊かさ」を提案
二拠点居住化の推進、移住・交流の拡大